

報道関係各位

「天覧山の鏡岩」及び「白谷沢のゴルジュ地形」の 文化財指定について

1 概要

市内に所在する「天覧山の鏡岩」及び「白谷沢のゴルジュ地形」を令和8年3月24日に飯能市指定天然記念物に指定しました。

2 内容

① 指定名称（管理者）

- てらんざん かがみいわ天覧山の鏡岩（能仁寺）
- しらやさわ白谷沢のゴルジュ地形（飯能市）

② 指定年月日 令和8年3月24日

③ 概要

- 天覧山の鏡岩

天覧山山頂の展望広場南側の直下、登山道の右手（北側）に垂直に切り立った崖が鏡岩です。

天覧山は下段が砂岩、上段がチャート*でできています。固いチャートは浸食されにくいことから、山頂部として残されたと考えられています。このチャートの大きな岩体に東西方向の断層が生じ、その断層面が擦り合わされ、鏡のように磨かれた状態となったものが鏡岩です。このように、断層活動により生じた岩盤上の両側にある光沢のある面を断層鏡肌と呼びます。天覧山の鏡岩は、東西方向に幅約10m、高さ6mの三角形状、また、鏡面は西側に幅約7m、高さ約5mの直角三角形状に広がっており、黄褐色や黒色のチャートが鏡肌を呈しています。

多くの人々に親しまれている天覧山において、ダイナミックな地形の活動痕跡を身近に観察することができる貴重な場所です。

・白谷沢のゴルジュ地形

有間ダム右岸から棒ノ折山に通じる、白谷沢沿いの登山道を登り始めて約30分ほどのところにある特徴的な地形が「ゴルジュ」です。ゴルジュとはフランス語で「のど」を意味する言葉で、狭く切り立った岩壁に挟まれた谷を意味します。

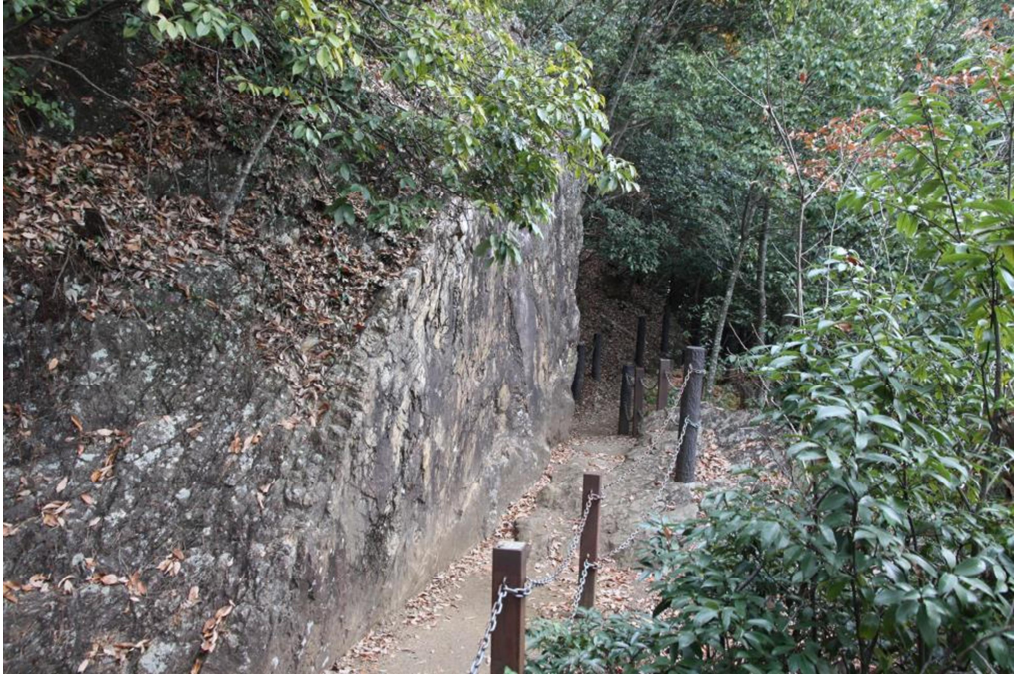
白谷沢のゴルジュ地形は、チャートでできた岩塊の間を沢が流れ、垂直に迫立った岩です。チャートは固い岩ですが、断層によって脆くなった断層面が生じ、そこに沢が流れて侵食され、断層面から離れた部分が浸食に耐え、この地形が形成されたと考えられています。白谷沢のゴルジュ地形は延長約200mほどで、その内両脇の岩壁が迫る箇所が2地点あります。有間ダム寄りの地点は、岩壁間が2.7m、岩壁が約7m切り立ちます。更に奥の地点は、岩壁間が3.8m、岩壁が約10m切り立ちます。いずれも黒色のチャートでできています。

多くのゴルジュ地形は、河川の両側に広がり、川の中を進んで観察する必要がありますが、この場所は平常時、水量が少なく徒歩で観察できる貴重な場所です。

※ チャートとは堆積岩の一つで、海底で放散虫や海綿動物の殻が堆積してできる非常に硬い岩石で、層状を成すことが多い。この固さにより、風化しにくく、岩体として残ることが多い。

天覧山のチャートは、2億9,900万年前から2億5,190万年前までの古生代ペルム紀に形成された^{ちちぶるいたいねのやまそう}秩父累帯子ノ山層の一つである。

白谷沢のチャートは、2億5,200万年前から2億100万年前までの中生代トリアス紀に形成された^{ちちぶるいたいみなみだいうらやまそう}秩父累帯南帯浦山層の一つである。



天覽山の鏡岩



鏡肌（鏡面）



白谷沢のゴルジュ地形（地点1）



白谷沢のゴルジュ地形（地点2）

担当者 生涯学習課長 木村由里子
連絡先 Tel 042-973-3681